



みささ 議会だより

東小学校校外授業 田植え体験

第113号 平成30(2018)年 7月号

主な内容

- 6月定例会・一般会計補正予算 2
- 常任委員会で慎重審査 3
- 議会報告会を開催 4～ 5
- 議員4人が一般質問 6～ 9
- 町民登壇・議案の賛否 10

6月 定例会

一般会計補正 (2,214万円の追加)

主なもの

- 三朝町ホームページ管理費（町ホームページの改修）
- 台湾台中市交流促進事業（2018台中フローラ花博派遣）
- 小鹿地区多目的研修会施設耐震改修事業（施設構造にあわせた耐震診断方法の見直し）
- 三朝町高勢公民館耐震改修事業（施設構造にあわせた耐震診断方法の見直し）
- 災害情報マップ作成事業（防災マップの増刷）
- 新小学校設置検討事業（統合後の校舎のあり方の検討）
- 小学校施設改修費（統合に向けての西小学校の改修）
- 国民宿舎事業出資金（プランナールみささの施設改修）



高勢地区公民館



災害情報マップ

日 程

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 6月 6日（水） | 委員会協議会（総務教育・産業民生）・本会議（議案上程、提案説明） |
| 6月 7日（木） | 一般質問（通告者4名） |
| 6月11日（月） | 産業民生常任委員会 |
| 6月12日（火） | 総務教育常任委員会 |
| 6月13日（水） | 本会議（議案に対する質疑）・全員協議会・議会広報常任委員会 |
| 6月15日（金） | 本会議（議案審議、討論・採決、委員長報告、議員提出議案審議・採決） |

常任委員会で 慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

総務課危機管理局

チャイルドシート
購入助成事業 22万円

(委員) 今年度で助成事業を終了するが、子育て支援として事業を継続すべきではないか。

(回答) 交通安全の担当としては廃止するが、子育ての面では今後とも必要と思う。

教育総務課

台湾台中市石岡区との中学生相互交流事業 10万円

(委員) 台湾へ行く際、羽田経由としているが、関空利用で経費が節約できるのではないか。

(回答) 羽田経由と関空経由では、航空運賃に差はない。関空利用では前泊が必要となり、経費面と移動時間を検討して羽田経由としている。

新小学校設置検討事業 310万円

(委員) 新校舎は第11次総合計画で検討するとしているが、新しい校舎の教室数や大きさを先に検討するのか。

(回答) 新小学校に必要な部屋数、大きさなど、どのような施設が必要か確認し、提案する基礎資料を作成する。



西小学校

小学校施設改修費 685万円

(委員) 西小の改修を最低限行うとしているが、どの程度のことを行うのか。

(回答) 教室のロッカーの大型化、トイレの照明改修などを計画している。

産業民生常任委員会

企画課

第11次三朝町総合計画策定

(委員) 計画策定にあたり3回の町民会議が予定され、メンバーは「公募・推薦」になっているが、どのような形を考えているか。

(回答) 分野の設定との兼ね合いもあり、公募は分野を示して公に募集をし、推薦は、町内各団体の方の中でお話を聞かせて貰う事になる。

農林課

大谷地区・荒廃農地の林地化プロジェクト

(委員) 今後は森林組合が維持管理をするのか。

(回答) 森林組合が20年間管理し、

森林組合と地権者の分収割合は7対3である。将来的にできた原木はシイタケ用に使うよう考えている。

観光交流課

ふるさと納税制度

(委員) 地元特産品等を返礼品としたが、カニを設定してはどうか。

(回答) カニについては、現在町内業者から問い合わせがあり、取扱いを検討している。

(委員) 返礼率を5割から3割に変更して現状は。

(回答) 6月8日時点で30件・163万円の寄附をいただいている。

熱気浴施設用地

(委員) 岡山大学から町に譲渡されるのか。書面での契約はあるのか。

(回答) 鑑定後、金額を提示いただき譲渡される見込み。書面での契約には至っていない。

三徳山ウォーキングセンター

(委員) 契約期間が満了し、地元へ返還する意向で協議中とのことだが、借地料が発生するのか。

(回答) 契約が切れた3月5日以降の借地料が発生する。今後敷地をどのような状態で返還するかを決定した後の返還となる。

平成30年度 第1回 議会報告会

三朝町議会では、5月から6月にかけて6地域協議会において議会報告会を開催しました。

この報告会は議員が地域に出向き議会審議の報告や住民の皆さんと意見交換を行うもので、今回は3月定例会の予算審査の報告と質疑応答、意見交換会を行いました。

このたび皆さんの関心の高かった事項は①小学校統合や②地域に関することでした。ここでは各地域協議会で出た意見等を紹介させていただきます。



高勢地区公民館

【小学校統合に関すること】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
・小学校3校を統合することは、議会は納得しているのか、小中一貫校を作れとの考え方もあるが、別にすべきと思う。	・町長は新校舎を建てるとは言わず、改修のみを行うと言っているの、現在のところは西小校舎を使うことになります。
・新校舎については、今、48億円の町予算の中で35億円もかけるのか。 ・教育委員会に、もっとしっかりするように言ってほしい。	・教育委員会には申し入れを行います。
・小学校統合について2校先行統合とあったが、新聞報道について議会は了解しているのか。また、町長はどう考えているのか。	・先日は、教育委員会の方針について考え方を聞いた段階であり、町長の発言と相違があることから、改めて、町側の考え方や今後のスケジュールを早めに提示してもらうよう要望します。
・小学校統合でバス運行をどう考えていくのか知りたい。その際には家庭の負担が増えないようにしてほしい。	・担当課へ伝えます。
・2校先行統合の新聞報道が出て、いつも報道が先で疑心暗鬼になっている。	・議会も3校統合の方向と思っていた。全員協議会に報告があっても教育委員会には町長が入っていないので決まった訳ではありません。
・教育委員会は決定権があるのだから、説明責任も果たしてもらいたい。元の3校統合に戻してもらいたい。	・教育委員会が二つに割れていて、東小は現状では反対との判断がされたのではないのでしょうか。
・教育委員会は会議を非公開で行うのではなく、全てをオープンにすべきで、今までの状況も明らかにしてもらいたい。	・担当課へ伝えます。
・教育委員会はもともと3校同時統合であったのでは。2校先行統合になったいきさつは何か。	・東小PTAの一部の保護者が反対したことに加え、南小は児童数が1人の学年もあつての判断だと推測する。新校舎建設が先行してしまつてもつれていきます。
・最終的に2校先行統合してでも、南小学校の子ども達のことを最優先していただきたい。(意見)	・町長は統合と校舎の問題は切り離して考え、校舎の問題は11次総合計画のなかに取り込むと言っている。2校先行が決定ではないが、2校でも3校でも統合できるスケジュールを組んでいます。

【町に対する要望等】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
三徳山土地買上げ事業	
・寺の土地を言われるままに買上げていくのは問題だ。	・投入堂含む土地周辺を保全するためであつて、外資系による買占めが起こらないようにするためには必要な措置と考えます。
熱気浴施設の活用	
・熱気浴施設の調査を7月に予定しているようだが、足湯、隣接地も利用し、もう少し人が集まれるようにしたらどうか。	・執行部の答弁では周辺の利用については交渉を行います。が、個人所有なので難しい状況です。 ・今後、新しい計画を作る予定ですが、プランナールも計画がありますので、調整が必要になります。

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
多目的駐車場の利用	
・多目的駐車場の利用が本当に少ないが、管理者はやる気があるのか。	・元々は駐車場がないからとの要望で作られたものだが、出来上がってみると利用が少なかったのが実態です。
・駐車場としてプランナール3階、岩崎、河川敷利用の要望で作られたが、それほどの台数が無かった。活用方法を検討して欲しい。	・その他の活用方法は検討する必要があります。
水道事業	
・上水道は一番下流からポンプアップしているが、災害時には停電等の問題があるので、簡易水道をつなぐ方法もあるが、議会も関心を持ってもらいたい。	・水量は毎分1000リットルが必要ですが、何か所か試掘したものの水質、水量とも良い結果が得られませんでした。 ・保ヶ平の古い水源が毎分460リットルと期待できることから、年間を通しての調査を行う予定です。
グラウンドゴルフ施設利用料	
・町民は無料とのことだが、ただで使うというのは問題があるのではないか。	・担当課へ伝えます。
図書館の返却方法	
・図書館から借りた本を返却する際に、わざわざ行かなくても済むよう方法を検討して欲しい。	・担当課へ伝えます。
バス対策	
・中の谷から上井方面への直通バスの運行を考えてほしい。	・担当課へ伝えます。

【議会に対すること】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
議員定数見直し	
・議員定数見直しを公約にしている人があるが、動きはあるのか。	・2年経過したときに特別委員会で協議することになっています。

【地域に関すること】

《地域住民の質疑・意見》	《議会の回答》
後継者対策	
・奥部集落に人がいなくなり、地区の衰退につながっている。親元就農や親の跡を継いで農業をやる家に支援してほしい。	・県の農業制度の中で親元就農を支援する制度はあるが、認定農業者など一定規模以上の農家でないと対象になりません。今後の課題として考えていきます。
集落の負担	
・集落の人数が減り、維持も大変になってきている。消火栓やホースなど自己負担となっており、小さな集落では大きな負担になってしまう。	・集落規模に関係なく、1戸当たりの負担が平等になるような仕組みが必要だと思います。
地域活性化	
・倉吉にある看護大学を支援しているが町のメリットはあるのか。	・県では、授業料の免除制度や奨学金制度などを行っています。
地域協議会	
・地域協議会の予算をもっと増やせないか。	・担当が教育委員会から町長部局に変更になり、町長は重視していると感じています。
地域資源の活用	
・小鹿溪の活用ができないだろうか。	・一つの例として、農家民泊や農業体験などの取組みもあります。



本泉交流センター

開催日時	開催場所	参加人数
5月12日(土)	高勢地区公民館	13
5月16日(水)	みささ村公民館	16
5月23日(水)	バンビセンター	16
5月30日(水)	竹田地区公民館	13
5月31日(木)	三徳センター	13
6月21日(木)	本泉交流センター	22

三朝町の明日に期待

農業

問 「東京オリンピック」で提供される飲食の中に、「三朝米」を入れることが出来ないだろうか

答 現状では、生産者の負担が大きく困難である

○グローバル GAP 認証

清水

2020年に開催される「東京オリンピック」で提供される飲食の中に、「三朝米」を入れることが出来ないか提案する。

町長

「グローバル GAP 認証」が達成されれば素晴らしいが、生産現場において相当の意識改革が求められる。残念ながら現在の生産者の技術や施設の状況、さらには生産者に大きな負担を伴うことから難しいと言わざるを得ない。

清水

何もする前から諦めるのではなく、努力する事が大切だと思うが。

町長

新しい栽培方法を取り入れるということは、大きなリスクを伴う。国際基準になると非常に高度な技術力と計画が求められる。今後は勉強から始めてみたい。

○具体的な農業施策

清水

町長の具体的な農業施策とは？

町長

まずは、継続性を持たせたい。三朝米と三朝神倉大豆を振興していくことが三朝町の二本柱になっている。可能であれば水稻と大豆の輪作体系を作っていくのがベスト。少し課題はあるものの収量を上げて生産量を多くしてどのように農家の所得を高めていくかが課題であり重点を置いていく。

○担い手の育成

清水

新しい若い担い手の方を育てる施策は？

町長

水稻の作付けが平成30年産でおよそ290ヘクタール。このうち町が担い手と位置づける農家が25戸で作付面積が85ヘクタールで全体の3割を占めている。ただ、その他に作業受託などを含めると全体の半分以上となり、今後とも力を入れていきたい。

○優良農地の集約化

清水

生産性を上げるためにも、「優良農地の集約化」が大事だと思うが？

町長

近年、農家数が非常に減少している。また、農家の後継者もないということで集約化が進んでいない。

清水

なぜ、進まないと考えているか？

町長

若い人が少なくなったために自給も含めて農業をしていくという意識が薄くなったことが原因ではないかと考えている。優良農地区域を地域や農家の人と協議し、土地の状況を調査して集約化を進めていくべきだと考えている。

○ブランド化

清水

「三朝米」や「三朝神倉大豆」などの基幹作物のブランド化に



清水成真議員

.....
ついて重点的に取り組んでいく。と言うことは具体的にはどのようにされるのか？

町長

三朝町における米のブランド化とは、三朝温泉の良質のお湯とあわせて地域の魅力として育まれるものと考えており、その知名度が単体で全国に知れるということは難しい。三朝温泉のおいしい米ということで全国から三朝温泉を訪れる宿泊者の皆様に評価をしていただき、全国に発信しながら販路の拡大を目指していきたい。また、今後は自ら、販路拡大に努めていきたい。

○販路の拡大

清水

どのような施策で販路の拡大を考えているか？

町長

三朝温泉の旅館とのタイアップにも課題を残している。おいしい三朝米について、しっかりとPRができていているのか、生産者と旅館のスタッフなどの連携を深め、三朝米を知っていただき、具体的な話し合いを進める中で生産者の意識改革にもつなげていきたい。

その他、「三朝町ジビエ推進協議会」（仮称）の設立についての質問を致しました。

空き家対策

問 民泊で増える空き家の利活用を

答 温泉とグリーンツーリズムの町へ

○5年前の調査で空き家は275戸だったがもっと増えているのではないか

山口

平成24年の調査では町内に275戸の空き家があるとのこと。その後も増えていることと思う。選挙期間中にも集落で増加する空き家の対策を要請された。

○空き家は今後も増えると予想

町長

275戸には全く使われない住宅、時々利用される住宅、転勤、入院等で長期にわたって未使用の住宅などが含まれている。

人口減や高齢化で今後も空き家が増加することが予想される。

○最近の空き家の現状調査が必要では

山口

前回調査から5年経過しているので現在の空き家調査が必要と思う。その際、民泊への提供等も意思確認してはどうか。

○再調査の時期と思う

町長

町内を歩いて回ってみてこんなに空き家が増えるとは思わなかった。改めて調査が必要な時期と考える。

調査に合わせて民泊活用の意向を取ってみる必要があるのでは。



危険家屋

○民泊で増え続ける空き家の利活用を

山口

アグリツーリズムなどの農業体験に町内全域に存在する空き家を資源として活用すべきでは。活用で危険家屋化を防ぐことも期待できる。

全町に及ぶ新たな観光資源として民泊を提案したい。

○空き家活用で地域の活性化を

町長

空き家に対する問い合わせは年々増加している。温泉療養目的の移住希望の相談である。

民泊を利用して本町での暮らし体験する環境の提供も大きな効果が期待できる。

また、空き家の活用には民泊以外にも地域住民の集うコミュニティスペース、田舎暮らしの体験住宅、シェアハウスなど様々な可能性がある。ベンチャー企業のサテライトオフィスなどの活用も面白いと思う。

○温泉で癒しと農家で農業体験をセットで

山口

温泉旅館と農家の農業体験をセットにした、両者がウィンウィンの多様なメニューが必要だ。その情報をSNSで広く発信することが重要だ。

○受け入れやすい環境づくりが必要

町長

三朝温泉に来られる人は温泉と三朝の文化に浸りたいのが第一で、それに加えて農村生活を体験したい滞在型観光としての



山口 博議員



田園風景

グリーンツーリズムの仕組みを作り、SNS発信するのが三朝町に一番いいと思う。

○空き家の民泊事業の具体的研究を

山口

温泉に泊まってさらに農家民泊に泊まることで三朝の滞在時間が延びることがこれからは大事ではないか。

民泊を一元的に管理する組織など一朝一夕にはできないと思うが、全町に及ぶ新たな観光資源として取り組まれない。

○グリーンツーリズムの町へ

町長

今般の提案はフランスの進んだグリーンツーリズムでもあり、それを三朝町に取り入れるべきと思う。グリーンツーリズムが可能な町として観光振興に努めたい。

教育

問 小学校統合事業の現状について尋ねる
答 町 長：時間が限られる中、教育委員会と協力して進める
教育長：新小学校の概要を1日も早く示したい

○統合時期の目標設定は誤りではなかったか

松原

平成31年春の3校統合目標の判断は、誤りではなかったのか。

町長

誤りとは考えていない。児童数状況や集団で行う教育活動等を考え、最短スケジュールを示したところであり、合意形成は容易ではなく教育委員会は2校先行案を示したが、早期の3校同時統合を望む声が多いと感じている。

○3校統合目標は2校先行に変更されたのか

松原

西、南の2校先行統合が、新年度開始僅か1か月余りの時期に決定されたことに違和感と疑問を持っているが、町長はどう考えるか。

町長

この決定は第1段階である。学校の設置、管理、廃止に関することは教育委員会の職務権限であり第1段階である。この後、第2段階は学校設置条例の提案、予算を、総合教育会議等を経て町長権限で決定し、最終第3段階は条例案及び予算を議会に提案し、可決により最終決定となる。

私としては4点の理由で教育委員会に再検討を要請した。①PTAや地域への説明が十分とは言えず、最終的な合意形成ができていない。②東小学校区で過去に実施したアンケートでは半数以上が3校同時統合を望み、今も割合は変わっていないと思われる。③PTAからの反対要求書にある新校舎を望む意見に、何の道筋も示さないまま判断を下すのは尚早。④2校

先行では吸収統合を望まないPTA、地域の要請に応える手段が見出せない。

松原

町民が混乱していると感じるが、どのように思うか。

町長

混乱ではなく情報が正しく伝わっていない。不安に思っておられる方への回答ができていない段階で、少し後手に回っている現状があり、誠実な説明を要請している。

○それぞれの意見は把握しているか

松原

地域住民、PTA、未就学児の家庭等の意見は、それぞれどのように把握しているか。

教育長

3校統合は概ね理解されていると考える。平成29年1月就任から半年で30回以上、平成30年に入って14回の機会を捉えて意見を聞いたが、反対意見もあるが賛同意見や励ましが非常に多いと感じた。客観的根拠に基づく意見は把握していない。

○2校先行はどのような経緯か

松原

どのような経緯で2校統合に変わったのか、新小学校は東小学校が統合できる時期とすべきではないのか。

教育長

教育委員会の動議による決定である。東小PTAに統合反対の意見があり、南小は余りにも少人数で学校教育が十分に行えないとの理由だが、重く受けとめ、教育委員長として熟慮しなければなら



松原成利議員

ない。

また、町長と地域協議会会長会からの再検討要請を受け、教育委員会で協議し回答と説明責任を果たしたい。先般、地域協議会会長会と教育委員会の懇談会が開催され、地域、PTAへの説明が十分だったか、意見集約できたか等反省点もあるが、新小学校を設置し3校に入ってもらうことが使命との考えは変えることはできない。

○チェックリスト等の準備はあるか

松原

どのような順序にせよ統合は目前であり、詳細なチェックリストを準備しているか。

教育長

準備している。統合準備委員会での協議事項を整理し事務局案を整えている。

○教育委員会は議事録を公開とすべきでは

松原

小学校統合についての協議が非公開であり、公開し透明性こそが大事だと思うが。

教育長

今後は議事として議事録を公開することにした。自由な議論を目的にフリートークで非公開としていたもの。

観光

問 新たな温泉施設を多目的駐車場に整備し、熱気浴施設、温泉本通りへと流れを作ってはどうか

答 三朝温泉の目指すべき方向性は、健康志向型の温泉保養地であり温泉を核として観光振興を進めていきたい

○素晴らしい泉質を SNS 等でアピールして観光客の増員をはかるべき

牧田

閑散とした多目的駐車場の一角にたまわりの湯にかわる温泉施設を整備し、人の流れをまずそこに集約すべき。そこから株湯、足湯、熱気浴施設、温泉本通りと人の流れを作ってはどうか。

町長

これまでの旅館の日帰り入浴では温泉入浴に限られるため、温泉療法や個々の目的に応じた温泉の楽しみ方を提供することも必要だ。三朝温泉、ラドン温泉の健康効果を享受できる入浴施設も考える時期に来ている。

熱気浴施設を新たにすると併せて多目的駐車場を活用し温泉街を歩いていただき、たまわりの湯や足湯、商店街の利用な

ど温泉街に人を呼び込む仕掛けを含め、まちづくりを進めていきたい。

牧田

熱気浴施設については岡山大学が取り壊しをしてから譲渡を受けるといった話が進んでいるようだがどうか。

町長

取り壊してから譲渡を受けるというスケジュールで進んでいる。設計についてはまず、調査費を計上しておりどういった熱気浴を中心にした温泉療法体験施設を作っていくか概要設計を作ってから、改めて予算を出させていただき進めていきたい。

牧田

三朝温泉の泉質は素晴らしいものだと思うが、もっと SNS 等で国内外に泉質をアピールしてはどうか。



牧田武文議員

町長

情報発信の関係を整備し SNS を使った発信の仕方というものも見習って、そういう条件整備も必要だと思う。



多目的駐車場

が連携しながら自分たちの暮らす地域の魅力アップを目指していたきたい。町の魅力を高めていくことが、I、U ターンや移住、定住への取り組みにつながるものと思う。

岡山大学の旧三朝医療センターの利用については、岡山大学、三朝町、鳥取県の連携協力に関する協議会があり、民間運営が前提ではあるが、高齢者や福祉施設として活用することも議題として提案したい。

人口対策

問 学校跡地を利用した外国人留学生の招聘や旧岡山大学医療センターを特別養護老人ホーム等に活用してはどうか

答 旧三朝医療センターについては岡山大学等との協議会の議題として提案したい

牧田

三朝町の人口は平成42年には5,100人まで減少すると推計が出ている。このままでは過疎化が止められる状況にない。I、U ターンなどの移住、定住対策はもとより、外国人留学生を積極的に受け入れている自治体も増えている。

私は学校統合による学校跡地

を利用した外国人留学生の招聘、民営を前提とした旧岡山大学三朝医療センターを特別養護老人ホームと有料老人ホームを併設した施設にしてはどうかと考えるが。

町長

行政は町民が活躍するために必要な支援やインフラ整備の役割を担う。住民の皆様には行政



高勢地域協議会 会長
田 栗 幸 人

元気で楽しく暮らせる地区に

高勢は過疎、高齢化がかなり進んで来た地区ではありますが、大空をクマタカが舞い、ヤマセミ・カワセミの美しい姿を見て、アカショウビンの美しい声を聞くことのできる素晴らしい環境の中で、元気で楽しく暮らせる地域をめざして頑張っています。

協議会の活動では、主な事業の高勢まつりは今年39回を、また運動会は53回と公民館活動の時代から地域協議会に移行した現在まで長期に亘り、途絶えることなく、地区の人々に愛されながら活動を続けています。これは地区の自慢であり、誇りでもあります。その他特産品づくりの「なめこ」や「馬場の滝まつり」など地区の子どもから高齢者まで、また地区内外の多くの人が集い楽しめるよう取り組んでおり、今後も続けていけるよう皆で頑張りたいと考えています。

地区の環境整備については、長年の念願でありました大規模林道小河内曹源寺間が開通すれば概ね完了となるため、早期の完成を待ち望んでいます。

一方で、鳥獣の被害は減少することなく、住民を悩ませております。またその他、林道など既設の施設の維持管理や、除雪、過疎バス対策等の諸問題も継続して存在しております。特に高齢化の進んでいる高勢地区におきましては、弱者にやさしい政策に力を入れていただきますよう、行政や議会の方をお願いしたいと思います。

【議案に対する賛否】

議案番号	議 案 名	結 果
町長提出議案名		
(6月定例会)		
34	平成30年度三朝町一般会計補正予算(第1号)	可決
35	専決処分の承認について(平成29年度三朝町一般会計補正予算(第7号))	承認
36	専決処分の承認について(三朝町特別医療費助成条例の一部改正)	承認
37	専決処分の承認について(三朝町国民健康保険税条例の一部改正)	承認
38	専決処分の承認について(三朝町税条例等の一部改正)	承認
39	平成30年度三朝町一般会計補正予算(第2号)	可決
40	平成30年度三朝町水道事業会計補正予算(第1号)	可決
41	平成30年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算(第1号)	可決
42	三朝町税条例の一部改正について	可決
43	三朝町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議員提出議案名		
議2	三朝町議会委員会条例の一部改正について	可決
議4	2025年国際博覧会の誘致に関する決議	可決

※福田茂樹議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件 名	提 出 者	審査結果	審 査 意 見
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	地方自治体の担う役割は年々増加しており、これに見合う地方財政の確立を図る必要がある。

おわりに ちよつとひとこと

夏休みである。8月と言えば、「スイカ」「トマト」「キュウリ」「ナス」などの夏野菜が頭に浮かぶ。しかし、6月の中旬には、既に夏野菜がピークを迎えるような時代になった。

小学生の頃、井戸水でキンキンに冷やしたトマトやキュウリをかぶりついた。あの頃は、時間がもつとゆつくりと流れていたような気がしている。小さな事はクヨクヨせず、次の日には忘れて、何事もなかったように毎日が過ぎていった。

夏休みの宿題は、「朝早くしなさい」といつも怒られるが、全く手につかない小学生時代であった。川で毎日魚採りをして遊んだ。真っ黒になり、ランニングシャツ一枚で過ごした。そんな時代が懐かしいと思う歳になった。時間は過ぎていく。

(清水 成真記)

発行責任者 福田 茂樹
編集 議会広報常任委員会
委員長 遠藤 勝太郎
委員 松原 成利
委員 清水 成眞
委員 吉田 道明
委員 松原 茂隆